

「とよはし節電夏の陣2012」にご協力ください

豊橋市では、昨年の夏は市役所庁舎および上下水道局庁舎で23万kWhの節電に取り組みました。今夏は、この経験を生かしながら公共施設を拠点として市域全体で、「省エネ」実践活動の強化に取り組みとともに、地域の特性を活かして自らエネルギーを創り出す、「創エネ」事業を推進してまいります。

100万kWhの節電アクション

市は、地域内の大口電力需要者として、対象を大幅に拡大し、市庁舎など140公共施設で夏季の期間中（7月1日～9月30日）、2010年比で電力使用量を100万kWh（20%）の削減を目標として、下表のような節電に取り組みます。なお、教育、医療、福祉関連などの公共施設は対象から除き、市民の安全や健康面、また、市民活動への影響を及ぼさない範囲で節電に努めます。施設を利用されるみなさまのご協力をお願いいたします。

■公共施設での主な節電の取り組み内容

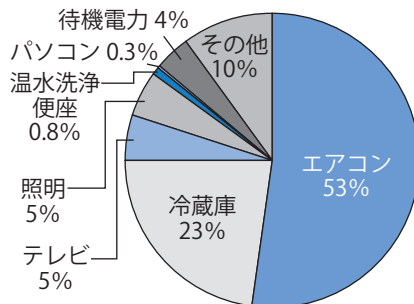
- ・市庁舎および上下水道局庁舎で昼休みの時間帯を午後0時30分～1時30分とし、昼間の電力需要ピーク時を避ける
- ・事務室、共用スペースの蛍光灯の間引きや消灯
- ・市庁舎駐車場や執務室のLED化
- ・トリプルクールビズ（ポロシャツなどの軽装）の実施

地域とともに省エネチャレンジ

家庭や事業所でも節電に取り組んで5%削減を目指しましょう。夏の日中には、在宅世帯では平均1200Wの電力を消費しており、そのうちエアコンが約半分を占めています（下グラフ）。3ページの表を参考に取り組み対策をチェックし、「我が家の節電対策」を作ってみましょう。※エアコン使用の控え過ぎによる熱中症などに気をつけて、くれぐれも無理のない範囲で節電をお願いします。

問合せ先 温暖化対策推進室
(☎51・2419)

■夏の日中の消費電力(1,200W)



午後2時頃の全世帯平均
(出典：資源エネルギー庁)

■節電チャレンジキャンペーンの参加

7～9月の3か月間の消費電力量の削減率を競います。前年同時期と比較して削減率5%達成の全世帯に、イオンやファミリーマート、ミニストップなどで使用できる「ほの国東三河W.A.O.N」を進呈します。

■緑のカーテンコンテスト参加者募集

本紙5月1日号21ページで募集。

■省エネ化の実験などに地域とともに取り組みます

下表の内容について協力団体などと連携して、節電につながる実証実験などを行います。

■省エネ化の実験など

内容	協力団体など
天伯校区市民館で節電チャレンジ事業	天伯校区自治会
まちなか緑のカーテンの設置(広小路三丁目)	広小路三丁目自治会
サツマイモなどの緑のカーテン設置(市庁舎)	鈴木高広さん(近畿大学教授)
ソーラー発電設備の発電力増加実証実験(施設課)	TSK(株)、佐藤勝尚さん(豊橋創造大学教授)
学校体育館にLED照明を一部導入(東田・小沢小学校)	—

20メガワット規模の太陽光発電

年度内には市内の累計で20メガワット規模の達成を目指します。

■住宅用太陽光発電システムの設置補助制度があります

補助件数1千基分。詳しくは問い合わせてください。

■老津町地内にメガソーラー発電施設を建設します




公共用地(約2ha)に1メガワット規模の太陽光発電システムを設置します。

■発電事業開始 平成25年3月(予定)

■運営事業者 (株)シーテック

【共通事項】その他 募集などの詳細はホームページ(<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/ondanka>)参照

■削減率5%を目指して家族みんなでチャレンジしましょう

メニュー		節電効果		チェック
		削減率	削減電力消費量	
 空調	エアコンの冷房温度は28℃を目安に温度設定する	10%	130W	<input type="checkbox"/>
		※設定温度を2℃上げた場合		
	「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる	10%	120W	<input type="checkbox"/>
	無理のない範囲で、エアコンを消して、扇風機を使う	50%	600W	<input type="checkbox"/>
	エアコンのフィルターを月に1・2回清掃する	—	—	<input type="checkbox"/>
 照明	こまめに消灯、清掃する。長時間使うところはLED電球や蛍光灯を使う	3%	35W	<input type="checkbox"/>
		※白熱電球から交換した場合		
	日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らす	5%	60W	<input type="checkbox"/>
 その他の家電	冷蔵庫の設定を「強」から「中」または「省エネ」にして、扉の開閉を減らし、食品を詰め込みすぎない	2%	25W	<input type="checkbox"/>
	テレビ、ビデオなどの主電源をこまめに切る。長時間使用していない機器はプラグを抜く	2%	25W	<input type="checkbox"/>
	温水洗浄便座などのオートオフ機能を使う	1%未満	5W	<input type="checkbox"/>
	ごはんは炊飯ジャーで長時間保温することを控え、冷蔵庫に保存し、電子レンジであたためて食べる	2%	25W	<input type="checkbox"/>
	テレビを省エネモードに設定し、画面の輝度を下げ、使用時間を短くする	2%	25W	<input type="checkbox"/>
		※標準→省エネモードに設定し、使用時間を3分の2にした場合		
その他	古い家電を買い換えるときは省エネ家電にする	—	—	<input type="checkbox"/>
	電力使用ピーク時(午後1時～4時)は洗濯やアイロンがけを控える	—	—	<input type="checkbox"/>

※資源エネルギー庁資料「家庭の節電対策メニュー」をもとに作成。節電効果の記載値は、在宅世帯の日中の平均的消費電力(午後2時:1,200W)に対する削減率の目安。削減率は小数点以下切り捨て

市の行財政改革プランの取組について
外部検証委員会による公開ヒアリングを開催します

問合せ 行政課(☎51・2027)

市では、平成23～27年度を計画期間とする、行財政改革プランを策定しました。プランの進捗状況を検証し、さらなる推進に向けた方策などを話し合うため、外部検証委員会による公開ヒアリングを開催します。

とき 7月14日(土)午前10時～午後4時※入退場自由 **ところ** 市役所東81・86会議室(東館8階) **内容** 平成23年度における10取組(予定)に対する評価と検証についてのヒアリングを、2会場に分けて行います **定員** 100人(先着順) **その他** 詳細はホームページ(http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bu_sounmu/gyousei/)参照

「豊橋市快適なまちづくりを推進する条例」が
7月1日に施行されました

問合せ 安全生活課(☎51・2303)、
環境政策課(☎51・2454)

- ・他人に迷惑な歩きタバコはやめ、喫煙マナーを守りましょう
- ・ごみのポイ捨てや飼い犬のふんの放置はやめましょう